



つなくちゃん

社協の各事業には、
社協会費が使われています

川島地区 社協だより

川島地区社会福祉協議会 地区社協だより編集委員
第30号 発行:令和8年9月

◆完成が待たれる工事中の川島大橋
(建設中の橋、遠景)

社会福祉協議会とは？

会長 小島豊彦



皆さんこんにちは。
川島地区社会福祉協議会の
小島です。あらためて社会福
祉協議会について説明したい
と思います。
各地区で災害が発生すると
避難所を開設し、生活支援等
をしているのをテレビなどで見
られたことがあると思います。
社会福祉協議会の「福祉支援」
活動の一環です。
社会福祉協議会とは、「地
域福祉」を推進することを目
的に社会福祉法に位置付けら
れた民間福祉団体です。各務
原市産業文化センターの隣、
「総合福祉会館」の二階に事務
所があります。

各務原市には川島地区を含
め、十七の地区社協がありま
す。誰もが安心して暮らすこ
のできる「福祉のまちづくり」の
推進、活動をしています。
活動資金には社協会費の一部
が補助金として支給されます。
今年度も、各務原市社会福祉
協議会の『ささえ、ささえら
れて、みんなが主役のまちづく
り』のスローガンのもと、川島地
区社会福祉協議会では、福祉
活動を計画しています。
年二回発行する地区社協だ
よりで具体的な活動を報告してい
ます。目にとめていただけると
幸いです。

川島地区社協 総会 今年の事業・予算決まる

5月20日、川島ライフデザインセンター
で令和8年度の川島地区社会福祉協議会
総会を開催しました。提出議案は

- 第1号議案 役員および評議員選出
 - 第2号議案 7年度事業報告
 - 第3号議案 7年度決算報告
 - 第4号議案 8年度事業計画案
 - 第5号議案 8年度予算案
- で、全議案可決されました。

今年度の事業は毎年恒例となっている
「古希・一人暮らし高齢者・介護者の集い」

「配食サービス」「ふれあい交流事業」、
昨年度に引き続き「こどもまんなかサロ
ン」などを実施します。

また予算では収支総額約274万円で
昨年度より約7万5千円の増額となつて
います。

予算の増額については、度重なる物価の
値上げが支出額に反映されたものになつ
ております。皆様のご理解ご協力をお願
いいたします。

令和8年度 川島地区社会福祉協議会 主な事業計画

月	事業	場所
5	総会	川島ライフデザインセンター
6	近隣ケア研修会	川島ライフデザインセンター
8	夏休みふれあい交流事業 (こども園児・学童)	川島ライフデザインセンター
10	みたらし販売 (クラブサークル発表会)	川島ライフデザインセンター
11	配食サービス (一人暮らしの高齢者の方にお弁当を配る)	対象者家庭、 川島健康福祉センター
12	古希、一人暮らし高齢者、介護者の集い (昭和31年度生まれの方)	川島ライフデザインセンター
9、2	機関紙発行(予定)	各家庭(川島地区全世帯)



総会の様子



令和8年度 役員

会長 小島豊彦
副会長 川俣孝二
理事 木村徹之 川瀬智美
苅谷貴英 櫻井幸二
井川香苗子 中野正勝
福手弘子

会計 脇田美千広
福祉推進員 青井徳夫 苅谷峰正
監事 田中春樹 脇田昌章
奥村英樹 脇田浩之
評議員 川瀬敏巳 苅谷鉄子
林田尚紀 尾関春江
上地はるみ 太田正志
中村美樹 川瀬光弘
田中俊成 永田英樹
水野香織 小島きよ子
小島ひろみ 岩田喜久
苅谷マツ子 安田瞳
原基久



(敬称略)

令和8年度 予算

収入の部	科目	金額
	地区交付金	450,000
	メニュー事業助成金	936,500
	地区運営費助成金	30,000
	寄付金	0
	その他の事業	54,000
	雑収入	874
	繰越金	1,275,126
合 計		2,746,500

支出の部	科目	金額
	事務費	86,000
	近隣ケア研修	24,000
	ボランティアハウス事業	468,000
	ふれあい交流事業	150,000
	機関紙発行	180,000
	赤い羽根共同募金	300,000
	食を通した支援事業	128,000
	支え合い活動支援事業	20,000
	こどもまんなかサロン	36,000
	その他の事業(緑日)	110,000
	助成金支出	245,000
	予備費	999,500
	合 計	2,746,500

令和7年度 決算

収入の部	科目	金額
	地区交付金	450,000
	メニュー事業助成金	910,088
	地区運営費助成金	30,000
	寄付金	0
	その他の事業	55,800
	雑収入	1,143
	繰越金	1,224,159
合 計		2,671,190

支出の部	科目	金額
	事務費	59,268
	近隣ケア研修	11,690
	ボランティアハウス事業	389,798
	ふれあい交流事業	125,741
	機関紙発行	245,000
	赤い羽根共同募金	259,006
	食を通した支援事業	87,658
	こどもまんなかサロン事業	36,000
	その他の事業(緑日等)	86,653
	助成金支出	95,250
	合 計	1,396,064

会費は貴重な財源…本会が実施する事業は、皆さんから寄せられる会費が主な財源です！



6月から自治会を通じて会費の案内が届き、既にご協力をいただいていると思います。お寄せいただいた会費(1口500円)は一旦市社協へ入り、その後会費の40%が交付金として、またメニュー事業として行事を行った分にに応じて地区社協(本会のこと)へ助成

されます。

昨年の会費は川島地区全体で、合計112万4千円でした。事業をスムーズに行っていくためにも、皆さんのご理解をお願いします。

近隣ケア
研修会

認知症についての勉強会



6月26日、川島ライフデザインセンターで、松倉・河田地区の近隣ケアグループ員を対象にして近隣ケア研修を行いました。

人生百年時代と言われる今日、寿命が延びて喜びの反面、病気などで以前のように健康で暮らすのが難しくなってきました。特に近年は認知症が問題視されており、この日は包括支援センターの職員から認知症について学びました。

講師は、『認知症とは、様々な原因により、脳に変化が起きて、記憶・判断力が低下し、社

会生活に支障をきたすようになった状態を言い、代表的な病気の種類は「アルツハイマー型認知症」「血管性認知症」などがあります。症状は、病気の種類にもよりますが、同じことを何度も言ったり、物取られ妄想が現れたり、徘徊するようになったりします。

認知症予防はウォーキングなどの運動、食生活改善や社会との接触、知的活動(手や頭を使う。)により、発症のリスクを減らすことができます。また認知症になつてからも進行を緩やかにすることが期待できます。

接し方は本人の意思、自尊心を尊重するようにし、もし家族の方が認知症になつたら家族のみで抱え込まないで地域包括支援センターや専門医へ早く相談することが大事です。』と話されました。

講話後、3名の方から質問がありました。

「この研修は認知症サポーター養成講座も兼ね、終了後受講証が渡されました。」

川島のボランタリーハウスの紹介 ⑤

川島地区で行われているボランタリーハウスを紹介していきます

ラン 麻雀クラブ 松倉



松倉のシニアクラブでお声がけして設立しました。初心者でも先輩方の親切な指導・アドバイスで上達します。難しい点数付けも出来るようになります！覚えはじめると(楽しいので?!)、家で自主勉強している人も!

年2回懇談会として簡単なお昼ご飯を食べながら、おしゃべりをして交流します。

麻雀だけでなく、ボランティア活動として、会場公民館周りの草刈りや植木の剪定、ゴミ拾いなど奉仕活動も行っています。

男女関係なく、楽しく指と頭の運動になります。

興味を持たれましたら、ぜひ見学においでください。

活動日/毎週火・木 13~16時

活動場所/松倉公民館

参加者数/19人(登録数)

参加可能な方/高齢者
(ボランティアハウス規定による)

連絡先/原基久



よそ見をしているといつの間にか負けちゃうことも...

ボランタリーハウスって何???

地域の高齢の方や体の不自由な方、子育て中の方など、家に閉じこもりがちな方たちが気軽に集い、楽しく過ごせる場所と内容を自分たちでつくっていく活動です。気軽に無理なく楽しく自由に楽しみながら活動しています!

←この幟旗が目印です! 興味を持たれた方はこちらまで...各務原市社会福祉協議会 (☎058-383-7610)へ

近隣ケアグループを 作りませんか？

近隣ケアグループとは、一人暮らし高齢者や高齢者のみの家庭、障害者等に声をかけ安否確認等の見守りをするグループです。

現在、川島地区では「松倉」と「河田」で組織されていますが、他地区では組織されていません。ボランティア活動に関心のある方、始めてみませんか？

3人以上のメンバーで市社協へ登録すればOKです。市社協からの助成金があります。各務原市内には自治会が中心になって活動しているところも多くあります。



- 問い合わせ・連絡先／
各務原市社会福祉協議会 ☎058・383・7610

三世代交流を しませんか？

三世代交流をしませんか？少子高齢化、核家族化が進み、家庭内で高齢者と子供が関わる機会が減少しています。

本会は、地域において世代を超えた繋がりと相互理解を深めることを目的に、三世代活動がされた団体に助成金を支給します。

参加をお待ちしています♡

- 対象行事／1地区(大字)につき1団体 おおあざ

※自治会が中心になって実施する行事などが対象

- 内容／三世代が触れ合う遊びやスポーツ、

文化などの活動

- 助成金／2万円(上限)

- ★助成を希望する団体は、川島地区社協 会長 (小島豊彦)まで連絡をお願いします。
- ★助成行事については、計画書、報告書の提出が必要となります。



「子どもまんなかサロン」 実施者募集

子ども達の孤立の防止や地域の中での子育てが、進むことを目的とした「子どもまんなかサロン」の実施者を今年度も募集しています。

日中子ども達だけになりやすい夏休みや冬休みなどの長期休暇中に、レクリエーションやおしゃべりなど交流の場を作っていただきます。

実施していただける地域住民やボランティアの方はお申込みください。

- 活動内容

レクリエーションやゲーム、折り紙や小物などの制作活動、勉強の時間やおしゃべりなど。

- 助成金

1回につき2時間の場合3000円、4時間の場合6000円。2回以上実施(上限は6回)

- サロンを担う成人のほか子供5人以上参加

- 申し込み先

地区社協を通して市社協へ申込を。

申請書は市社協ホームページから取り出してください。

- 問い合わせ・連絡先

各務原市社会福祉協議会 ☎058・383・7610

子ども達と
一緒に
遊んだり
勉強したり

子ども達が
楽しく過ごせる
時間を企画して
みませんか

